海蔵地区青少年育成協議会の取り組み

「海蔵地区青少年育成協議会（以下、青少協）」は、海蔵地区内の青少年に関する諸団体が、青少年をとりまく問題を協議して、その健全育成をはかり、明るい地域づくりに貢献することを目的に活動しています。

「青少協」が中心となって「海蔵小学校PTA」「山手中学校PTA」「海蔵地区子ども会育成者連絡協議会」と合同で行っている、海蔵川救命ブイ点検と巡回補導の取り組みについて紹介します。（PTAなので、学校の先生方も参加しています。）

海蔵川救命ブイ点検

海蔵川救命ブイ点検は、溺れた人を助けるために河川敷に一定間隔で設置されたブイを、毎年子どもたちが河川敷で遊ぶようになる、夏の前に点検・補修と清掃をする活動です。

まず、青少協役員が巡回点検を行い破損状況を調べます。その次は、交換用のロープ・ブイの準備をします。そして、上記4団体による交換作業を実施します。

交換作業の際には、ブイがどこにあるのかわかりやすいように、ブイ周辺の草刈り・清掃も併せて行います。こうして、約1ヶ月間土日を使って、点検から交換作業まで行います。

ご存じなかった皆さんも、この機会にブイの場所を確認して、いざというときに使用してください。

巡回補導

巡回補導は、子どもたちが夜間に出歩くようになる長期の休みに、子どもたちの集まりそうな施設をパトロールしています。海蔵地区市民センターに集まり、コンビニ・堤防・中学校・公園など、子どもたちがトラブルに巻き込まれてないか、確認して回っていきます。

近年は、この活動の成果なのか、子どもたちが塾などで出歩かなくなったからか、大きな問題もなく穏やかな状態です。

この活動に参加して

たくさんの団体が連携していろいろな角度から子どもたちを見守っているのだなと実感しました。

また、巡回補導をしているときに、お店の人に何か問題はなかったかを聞くのですが、皆さん快く協力してくださいます。

皆さんの協力があって、地域の子どもたちの安全があるのだなと思いました。ありがとうございます。

「ブイが破損していたよ」「ここが危険だから巡回場所にいれてみてはどうか」などお気づきの点があれば各団体にご連絡いただければと思います。

海蔵地区社会福祉協議会の花部が独立して「堀川菖蒲園花菖蒲育成会」に

海蔵地区社会福祉協議会は、平成28年度から地域福祉事業を担うことを基本に、活動・組織の在り方の検討を進め、昨年度の6月に地区連合運動会や地区文化祭を担っていた事業部が「海蔵地区事業企画委員会」として独立し、地区広報や地区ホームページを担っていた「広報部」が海蔵地区まちづくり協議会へ移管されました。

そして、本年度6月に堀川菖蒲園の管理運営を担っていた「花部」が「堀川菖蒲園花菖蒲育成会」として独立しました。